# 農山漁村地域整備計画 事後評価調書

計画の名称	福島県の農村環境整備による快適で安全な農村づくり
計画策定主体	福島県
	会津若松市、いわき市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、南相馬市、国見町、鏡石町、天栄村、只見町、南会津町、磐梯町、会津坂下町、会津美里町、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、塙町、鮫川村、石川町、浅川町、小野町、楢葉町、新地町
計画期間	平成22年度~平成26年度(5年間)

# I. 交付対象事業の進捗状況

5年間で42地区を本計画に位置付け、事業を実施し、平成26年度までに30地区が完了した。残り12地区のうち3地区は他事業へ移行しており、その他9地区は、平成27年度から開始している「福島県の農村環境整備による快適で安全な農村づくり」(2期計画:H27~H31)に継続地区として位置付けており、計画的な事業執行を行っている。

## Ⅱ. 事業効果の発現状況

	事業種類	事業効果の発現状況
$\vdash$	<b>学术</b> 性权	
1	農地防災事業	ため池等の改修により、農地・農業用施設等における災害の未然防止が図られた。 た。
2	広域農業用水適正管理 対策事業	旧堰の撤去により、農業用水管理の適正化、災害の未然防止が図られた。
3	地域用水環境整備事業	施設整備により、農村地域における生活空間の質的向上が図られた。
<b>4</b>	農業集落排水事業-1 (施設整備)	農業集落排水施設の整備により、農業用水の水質や農村環境の改善が図られ、 河川・湖沼等の公共用水域の水質保全にも寄与した。
4	農業集落排水事業-2 (機能診断·整備構想策定)	農業集落排水施設の機能診断・整備構想策定により、事業の計画的・効率的な推進が図られた。
(5)	集落基盤整備事業	用排水路・農道等の農業生産基盤の一体的整備により、集落周辺地域における 農業生産性の向上を計画していたが、東日本大震災の影響により休止(1地区)と なった。
<b>6</b>	中山間地域総合整備 事業	中山間地域における農業生産基盤と生活環境基盤の一体的な整備により、農村の活性化が図られた。
7	農地整備事業 (通作条件整備型)	農道の整備により、地域の農業交通条件の改善が図られた。
8	農業農村整備実施計画 策定事業	ほ場整備事業の予定地区における実施計画策定により、事業の計画的・効率的な 推進が図られた。
9	農業基盤整備促進事業	農作業道及び用排水路の整備により、営農条件の改善が図られた。
10	湛水防除事業	湛水防除施設の実施計画策定により、事業の計画的・効率的な推進が図られた。

## Ⅲ. 成果目標の目標値の実現状況

	定量的指標	指標項目	単位	目標値	実績値	達成率	備考
1	災害発生による想定被 害面積51.3haの解消を 図る。	想定被害解 消面積	ha	51.3	42.3	82%	2期計画により継続実施予 定(1地区)
2	水利施設8箇所を撤去 し、農業用水管理の適 正化、災害の未然防止 を図る。	撤去水利施設	箇所	8	8	100%	達成
3	地域用水環境整備により、農村地域2地区における生活空間の質的向上を図る。	生活空間の 質的向上	地区	2	1	50%	東日本大震災の影響によ り、1地区休止
<b>4</b> ) -1	農村地域における生活 排水処理について、計画 処理人口を3,240人増加 させる。	計画処理人口	Д	3,240	3,240	100%	達成
<u>4</u> ) -2	農業集落排水施設の安 定的な処理能力を維持 するための整備構想を 52施設について策定す る。	整備構想策 定	施設	52	44	85%	老朽施設を優先実施したことによる減

	定量的指標	指標項目	単位	目標値	実績値	達成率	備考
⑤	農業生産基盤・集落基盤の整備を1地区実施 し、優良農地の保全に努める。	農業生産基 盤・集落基盤 の整備	地区	1	0	0%	東日本大震災の影響によ り、1地区休止
6	中山間地域における、農 業生産基盤・農村生活 環境の整備を2地区実 施し、優良農地の保全に 努める。	農業生産基 盤・農村生活	地区	2	2	100%	達成
7	農道の新設、改良による 通作条件の確保、改善 及び維持させる農地面 積を58ha増加させる。	通作条件の 確保、改善、 維持面積	ha	58.0	58.0	100%	達成
8	農村地域の整備に必要 な計画を7地区策定す る。	計画策定	地区	7	6	86%	1地区他事業で実施
9	農作業道及び用排水路 を整備し、営農条件を改 善させる農地面積を 1,525.7ha増加させる。	営農条件の 改善面積	ha	1,525.7	1,525.7	100%	達成
10	湛水防除事業により被 害が想定される面積を 208ha減少させる。	想定被害解 消面積	ha	208.0	0.0	0%	他事業で実施

# Ⅳ. 今後の方針

平成27年度~平成31年度の「福島県の農村環境整備による快適で安全な農村づくり」の2期計画に基づき、 農業者や地域住民の生活の場である農村の快適性及び安全性の向上を図る。



農地整備事業(通作条件整備) 糸沢3期地区(南会津町)【農道】



中山間地域総合整備事業 ただみ西地区(只見町)【交流基盤整備】